題字は 印刷あかつき印刷所

> 天水島高橋重幸(四九)は ました。ことしの訓練生は 所式は一月八日おこなわれ

職業短期訓練所第六回の開

中高年令者を対象とした はじまる 職業短期訓練所

讃願三件を採択し、土木お

ほか、別項の おり感じした 審議、原案と

よび社会庫生委員会にそれ

広

|○ (単位万円) 楊本ゴ・ 松之山教員住宅附帯設備

ました。

専業はつぎのとおりです。 予算で補正追加された主な

昭和四十三年度一般会計

整備事業、一六、町道敷砂利

反対し、安定した仕事と、

除雪ブル借上八〇

冼却炉助成二(二)、人会林野

浦田あみだ位橋清負三〇、

る清韻について。

号

誠にありがとうございまし た。ここに厚く御礼申し上 本年もどうか変りないご

支援ご協力を賜わりたくお

て町勢罐進へ一層の鋭気を

の終止符をうつべく、そし

うごさいます。

るご協力を、ただきまして

昨年中は公私共に格別な 町民の皆様新年おめでと

願い申し上げます。

したあの大地すべりに一応 となく憂感しつづけてきま 様と共に一日も忘却するこ 三十七年以来、町民の皆々 厭りみて、昨年は、昭和

年 ĦŢ 훉

のご挨

拶

佐藤重孝

職の方々をはじめ、町民の 御協力をいただきました。 祭典が成功するため多大の 皆様方からは、挙げてこの

謝申し上げるものでありま ことを、重ねて衷心より深 有史以米の催しとして極め 盛会理に挙行できました

ご指導のもと地元各位の御 的に着手できたことも特筆 理解によって、極めて効果 つきましても、関係機関の また県単川村振興事業に ります

互してゆく上に、どれも極 り、松之山町が近代社会に 様の要望は一層高まってお 育所の整備など、町民の皆 題、老朽校舎の近代化、保 無雪道路化、鉄道誘致の間

反面、食糧管理制度の改 たします 六二、消防自動車附属品 **農免道路測量費(天水越)** 反対し、国民の健康を保険 二、医療保険の技本改悪に

しました。町、部落の各役

お蔭をもちまして松之山町

革の情勢や、人口流出のこ となど、町が置かれている

き、十二月三日丸山シズさ

(蘇倉) 十二月十四日高

すべきものと存じています。 一層の硬直化に加えて、社 さて新し、年は、財政の

あります。

新年に当り意を新にして

会文明の進歩にともない、 これら諸問題にとり組んで

めて重要なことばかりであ でありますようご祈念中し ても一層幸せな恵まれた年 と共に新年が皆さまにとっ 倍したご協力と輝べんたつ 参りたいと思っております。 上げて、新年のご挨拶とい を重ねてお願いいたします どうか町民の皆様の旧に

の町議

会は、一般会 之山町定門議 日開かれた松 計補丁子真を 十二月十八 | 七、一時借入金利子三〇、 復興祭製係二

国民健康保険会計 診療所賃金三六、 十二月定例議会に提出さ 中央診療所備品三三、

一、町道の具格について、 つぎのとおりです。 れ採択された膿願の要言は ら提出され、山岸政栄蔵 之山川落総代ほか二名か はしいというもので、 農道を町道に格上げして 光明 - 坂下地内に通する

失業中の生活保障を要求す 二、失業保険制度の改悪に 員が趣言説明をおこなり

12月29日松之山で



松之世 号の情部スマ子さん親娘

第一号の松之山浦部スマ

が、どうぞ気軽に御相談下

松之山町では教育長の南

され、この活動に御協力を や器物等がありましたら女

ほんとうに有難かった」と 入院出産できるとは思って 共に至極元気で「松之山で 女の勝美さん(一ヵ月)と 子さん (旧姓流沢) は、 親のもとで間にあうなんで なければと心配でしたが、 松代が、十月町にでも行か よろこびを語っていました。 いませんでした。 はじめは

月 帰 省 正

さしいものではないようで「第一号がめでたく誕生しま 所に倉田先生が辻任されて 転、二十七日には人院出産 のようなところからようや で地すべりのため仮診療所 く、新装の中央診療所に移 から半年。十一月六日今ま の類望にこれえて中央診療 者さんがほしいという町民

中央診療所では、引き続 APPER APPER

す。名前を出したくない人

電話でも手紙でも結構で

委员员 人 樋口藤 夫定 松之山町文化財調査委員会 いただきたくお願いいたし 化財調査委員に連絡、紹介

巴

医谷黄郎

(松之山中教諭

作談相手をされます。 **行政相談委員として皆様の** 墨藤九郎さん(西之前)が

きす

图案さんの電話は はそのようにいたします。 内容を知られたくない人に

文化財を

大切に

事務所

教育委員会

佐藤卯平次(中立山 佐藤利奉 (天水越 淹沢正泰 (松之山) 山岸定佐久 (新山 村山定男衛校子存 小野塚正 (藤倉)

(順不阿数称略)

自宅は七六五五番です 役場は四一番

写真は中央診療所

正月帰省三五〇人 東京、名古屋から

会の会費と「赤い羽」募金

| 飮、新山天荒戸||山岸軍平

松之山東口光間上村山政太 の担当区域はつぎのとおり

の一部が使われました。 なさんからいただいた協議

新民生委員

原庚濟、天水越—佐藤里竜

天水島中坪—高橋友市、

湯山!村山一一、湯本!福 下川手上川手=志賀シズ、 大梨小谷—和久井広吉,

> 副 激長

総務文(長)高沢

教委員(副)福原

뒭

の韓末監問をしました。

勿論この資金は町内のみ

(

題となっています。 者は増加し、町の明るい話 非常に好評で、年毎に申込 をと、出稼者の帰省バスは |家中の類が揃ったお正月 | 三十一日は午前九時半近く ことしの帰省者は、二十 一気で下車し、町長助役から 前に到着。みんな明るく元 七台のバスが松之山郵便局 出述えの挨拶をうけました。

また貸切バスは全部で九台 六十三名となっています。 二百八十八名、名古屋から 三百五十一名で、東京から 九日と三十一日をあわせて

座イス

厚生大臣の委嘱を受け、新

平、新田上の山湯の島==丸

去る十一月末、前の香員

子平坪野赤倉東山=村山り

藤原巣倉管根―布施庸

員会 (副)佐藤

土木委(長)佐藤

漢

エビ池―大見徳次郎、五十 |単一横口彦市、上エビ池下 藥倉東川—小野塚辰平、

きまる

補正予算五百万円可決

失保、健保に関する請願採択

町の社会福祉協議会では

介議員が、趣旨の説明をお

こないました。

提出によるもので、滝沢重

労組(資産者)ほか五団体の

善を求める要請について。 日属建保を適用、給付の改

髙令者に

以上二件は、松之山農村

し、農村労働者にもれなく で 訓練をうけます。 か十四名で三月三十一日ま

長期人院者や身障児施設等|てくれますので遺憾だく御 年寄に書ばれています。 又 ぞれ座イスを各一個贈りお として、在町高令者にそれ 総末だすけあい運動の仕事 入院出産相つぐ どんなことでも相談に応じ

相談下さい。民生委員とそ

豊衡官を募集しています THE PROPERTY OF

二十才以上の男子ならど

申込者は役場職業係へ なたも受験できます。 児童の問題等心配ごとなら 員は生活上の問題をはじめ た。ご承知のように民生委 しい民生委員がきまりまし の任期が終ったので、

早川憲治

キョ、樋田北浦田西之前― 清丸、月池坂中朝田―早川 林学、中立山田麦立二石塚

中央診療所 ||六日小野塚チエ子さん||中坪 |近マサ子さん主要十二月十 築された中央診療所と第 相ついでいます。写真は新 とこのところ入院出産が

からからからなっちゃからなっちゃからからなっちゃく

下校は必ず集団で キケンです。登校、 雪道の一人歩きは

からかん からかん かんかん かんかん **農業共済、生活保護、失業** 農業のことから、農協、 きない。一相談 したい」ことは 「なっとくで

また郷土の歴史を生活文

保険、年金、戸籍、交通安 ど、およそ公の仕事と見ら 全、水道、衛生、電気、た 金、保育所、選挙、防犯な 話、教育、給食、学校寄付 ばこ、塩、パス、電信、電 れる一切のことについて、 なくとくできない」 これらの文化財を保護、

たい。ことがありましょう めてもらいたい」「相談し 改 ますが、私達はその文化財 文化の発展に寄与するため の価値に気付かず年々町外 に努力したいと思っていま 存すると共に郷土の新しい 散逸し失われつつあります に持ち去られたり或は破損 類など多くの文化財があり 石、陶工、刀剣、書牌、表 古文書、古絵図や仏像、墓 化の推移を知る上に貴重な 町民の特様から古い文書 私達文化財調査委員会は

放置されています。 民族の遺跡(石器、

の古跡がまだ未解明のまま 連る伝説や多くの古城跡等 が各所で発見され、歴史に から住んだと思われる先住 私達の郷土には数千年前 井震

久保田勢等

W

小野塚光男

村山吉太郎 鏧 重 終治 太治 社会厚定 人 極大 |委員(副)||本山房太郎 樵沢 樋口 紩 産市 保護

佐藤五良治 又義 庚造 佐平 員会 (副)田辺 一夫 産業委(長)小野塚吉三郎 布施爾一郎 上岸 長男

楼灯

87 -

ると小谷と同じくらいだ。

米の統制を

ここは耕らん機か少いが

外すな

田口より低いくらいですよりは、 だと思いこんでいたら「痛 るので、すごく高いところ

は出かせぎはなかったが今 い者が半年やごめだ。以前 事がないので出かせぎで若

とっつありまで出る

て薬の運搬代を出し合って

「マイクロバスを通して下 いたいです。」

守れない。と深刻になる。

よそへ出られる人はむ。主婦たちがバスで外丸の土

たいと人々は期待している。一けたほうが無難です。 入浴

・と経費がかさむ。この秋は

年の事ともなれば、何か

しろいいのだ。出るに出ら

んなでは農休日を作っても

います。東川の診療所で、

一人いくちというふうにし

纂は上布川全部でまとめ |

です。無質道路にしてもらしまれないざまだ。経営がこ

つずかない。

手づるがなけりやだめだ」

なかなか明るい希望の話か れじや何が出来るだろう。 から三百万しかならぬ。こ

」ということで、びっくり

渡へ行く道から、ぐっと登

「上えび他」というと鹿

とのこと。

「嬢がない。地もとに仕

し、ワマが心配です。 です。坂が急で骨が折れる ので病人が出ると大さわぎ 4)

山を

りが多くて若い者が少いと ということではなくて年よ と言りと「それは長生きだ ここは町内で第三位になる ○才以上の人口の割合いが

いうことなんじやないか」

えが困ります。人手が無い

「冬は医者のおくりむか

き

うのはわからなかった。 かったが、「えび」他とい

> 」とここの人達は力談した す人も買り人も損をする。

那落の全人口のりち、七

薬の運搬代を

「長生きなんですれる」

く困る、と次のように訴え

医療については、冬は全

出しあって

う、よしが出て来ます。 りました。今でも七の中か

かみ、しもについてはわ

しもにはしものえび他があ

ても統制をとらないでもら にもならぬ。早出来をやめ

いたい。統制をとれば、出

- かみにはかみのえび他

に励

び

われについては、

な真剣た。」 このほかには無いからみん

"統制がとれたら、どう

間と同じくらいになる。

「ここは稲作が適している」

べて役牛です。肥育はだめ いる。「上えび他の牛はす

> る人もその方がいいので しています。出す人も集め

「この部落では上納は夜に

このほかに聞いたことは

かない。それで牛を使って タンボまでは耕ちん機が行|

だし子とりもだめですね」

は農休日が必要だと思うが

一
若い者をひきとめるに

魚沼の方への道がほしい 一農休日どころか祭でさえ休

上えび他、下えび他の・

ここのお宮さんは浦田郵便 ついでに浦田とくらべたら

本間は第三種線で、本年は この区間が更に東川まで延 一を完全に確保する。

長されました。 で除雪かおこなわれ、冬の 一の区間は毎日ブルドーボ 異常な豪雪のない限り、

3:54

付は標はつぎのとおりです。 除雪をいたします。 ました。勿論小雪であれば 々の便をはかることになり 遷に一!三回程度は、ブル 交通を確保することになっ - 一ザで圧雪し、地区の方 第|種=||三庫線(穴・○m) **県が定めている各線の格** 浦田~松之山間は

ţ

新に配置された営上車 (5人のり)

異状な廃雪以外は常時交通 | 六・○m)市具確保を原則 |以上の中員確保を原則とし||第二種||二重線(先・五十 { 松之山間は圧雪で 70

一とするが状況によっては、

上車、ジープの使用は急患、非常の場合

通止めになってもやむを得 ないものとする。 るが状況によっては一時交 四・〇m)巾員で必要な待 第三種―|車線(三、五~ 避所を設ける事を原則とす 止れ得ないものとする。

望があります 方面から役場 連絡して下さ 合には役場へ など非常の場 せてもらいた 車やジープを 都合がありま に入った雪上 い、という要 一般に利用さ 急患や災害 車や人手の

すので、何時

した人が二人とこれも又史 松之山町においても十二月 人、又町外において事故死 末現在三人が死亡し重傷!

かねて、

とと思います。

避所を設ける事になっても 東線(四・○m)巾員で待

なっております。 千人から三千人の人が全国 亡し、八千五百人あまりが 県内でも同期で二百人が死 のどこかで重軽傷を負って いるという思ろしい結果と

が史上空前の数字になるこ 月末の発表は出ていません るということで、まだ十二 重軽傷を負って、毎日三十 人以上が重軽傷を負ってい

りませんから、この点をごっ でもすぐに間に合うとは服 | 承ねがいます。

交通事故は史上空

十三年九月までで死者一万 **人重経傷者六万人で毎日二** た交通事故概況によると四 過日警察庁から発表され「上最高の数となっておりま

一月になってからやまず

55

のようになっているのです りますが、原泉徴収とはど

額が算出され納付した場合

間源泉徴収で所得税の税

に用意されています。

養統は余等申告書」は税務署

源泉徴収をされることがあ

大雪の

の中で、わきみ運転、酒酔 しかし、これにもまして大 の対策が急がれております。 方ではカーブが多いためそ 設のおくれ、とくにこの地 それから道路の交通安全施 ・五倍も増加しています。 末で百三十台と三年間で四 きな要因となっているもの

3 4年 3 5年 3 6年 3 7年 3 8年

死亡者町内で3町外で2 一前

> 将原安全運転管理者協会と が特に多いようです。

昭和四十一年五月から新

いうものができ一昨年四月。

としています。 運転追放の宣言を行なうな 松之山の各事業所でも飲酒 なんとか事故をふせごろと

況は次のとおり(各年一月

運転者の不注意によるもの

無理な追越しなど | から、車両台数五台以上の

事業所に管理者を設置し、

車の保有台数の増加であり 交通事故の増加要因は種々 内における所有台数が四十 ます。軽四輪車でいうと町 考えられますが、まず自動 年末で二十九台、四十三年 ことしは

のまますっぱり雪に埋れて 者の帰りは徒歩で、車はそ た。暮に車で帰省した出稼 在すでに二米三十糎となっ ある。過去七ヵ年の積雪状 雪とけまで、という状況も に降り続けた雪は、十日現

> 100 39年

> > 支払う給料等について 給 支払をする者は、その者に

128 40年 155 41年 160 42年 81 43年

否

店員など使用人を雇入

給料などの給与所得の

ですが。

| 答 そうです。前間の扶養

還付されることがあるそう

所得税の確定申告によって

寒さに弱い

脳卒中

しています。

の翌月十日までに所轄税務

泉徽収をした日の属する月 で求めた所得税を源泉徴収 与所得の源泉徼収税額表」

一されたときは、その年の最 一徴収の所得税の税額が算出

出しなかったために、

源泉 を提

の扶養控除等申告書」 親族のある方が「給与所得

後の給与を支払った後にお

して、原則として、その源

脳卒中の発生は一月が最 |直後におこるのと夜便所→ |高です。寒さと完全に平行 いろですが、外出先や帰宅 発作のおこる機会はいろ

税額が少なくなるそうです 間 源泉飯収の手続で所得 署長に納付することになっ

(‡

「給与所得の源泉徴収

れに基ついて、給与支払者 いて年末調整を行ない、

そ

票」を作成して受給者に交

書」やその年最後の給与支 泉徹収する所得税の税額を 計算するために必要な「給 与支払日の前日までに、 源 保険料控除申告書」を給与 整に必要な「給与所得者の 払日の前日までに、年末調 **分所得者の扶養控除等申告** まず、その年数初の給 その「給与所得の願泉徴収 提出すると過納分の税額は 所得 (農業所得等) ととる 還付されます。 の脱務署長(高田税務署長 に三月十五日までに住所地 票」を家族に送付し、 付することになっています

に所得税の確定申告書を

者から受取って下さい。

なりませんから、給与支払 票」は必ず添付しなければ 給与所得の源泉徴収



書に基づいて、それぞれ給 って、その提出された申告 の支払や年末調整を行ない 支払者に提出することによ

場合は所得税額は奪出され 申告書」を提出することに よって、普通の短期出稼の 給与所得者の扶養控除等

してはいけません。夜はし のえるのに時間をとったり ておまけに湯かげんをとと も、寒いところで裸になっ いるからのなるなるない

朝目がさめたからといって ふんやおこることは勿論禁 急にとび起きないこと。異 一之山地すべりの記録」は残 念に刊行された写真集 超音用 整子可 室宛お申込下さり。 者は、松之山町役場収入役 部僅少となりました。 希望 松之山地すべり復興祭記 松

新に林道を

らい売りとばしても二百万

れない人がいる。あらいざ

林業の一大拠点づくりにし 林をひろげ、この部落の最 に風のつよい日の外出はさ よりますが、寒い日、こと

中魚沼の中里村の方向へ櫃 町有林や公団造林とともに 開いて、いまの二〇町歩の 巾四米の林道を新たに切り 目上、全長約11七〇〇米 のです。危険をさけるには 身をさらすことがいけない りも、急激な温度の変化に 血圧や動脈の病状程度にも 細かい注意が必要です。 す。寒いということ自体よ 比較的多いよりに思われま •に立った時におこるのが

地方色豊かなさいの神焼き

ないでしよう。 注 扶養親族のある方は、

びんを使って下さい。ご婦 人は丹前を用意して下さい。



出稼者の

源泉徴収に

なおこの「給与所得者の挟 ついて

他の